



# 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場取引所 東大

上場会社名 丸大食品株式会社  
 コード番号 2288 URL <http://www.marudai.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 百済 徳男  
 (氏名) 加藤 伸佳

TEL 072-661-2518

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	103,080	2.5	1,853	△44.1	1,866	△44.8	918	△66.4
24年3月期第2四半期	100,596	1.5	3,314	2.1	3,380	3.0	2,734	1.4

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 708百万円 (△72.8%) 24年3月期第2四半期 2,600百万円 (6.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	7.07	—
24年3月期第2四半期	21.05	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	124,455	67,828	53.2	509.60
24年3月期	124,357	68,309	53.7	514.06

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 66,200百万円 24年3月期 66,779百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	9.00	9.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	210,000	2.9	4,450	△24.7	4,600	△24.9	2,100	△46.6	16.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	132,527,909 株	24年3月期	132,527,909 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,622,652 株	24年3月期	2,621,130 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	129,906,453 株	24年3月期2Q	129,908,355 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として回復基調にありましたが、景気の先行きにつきましては、欧州の景気後退や新興国経済の足踏み等からくる世界景気の下振れリスク、円高の長期化などにより不透明な状況が続いております。

加工食品事業におきましては、デフレ、雇用不安の影響などによるお客様の節約志向の浸透や商品の低価格化などから引き続き厳しい環境が続いております。また、食肉事業につきましても、国産牛肉の相場については、やや回復の兆しが見られましたものの、豚肉・鶏肉相場は総じて軟調に推移し、依然として厳しい状況下にあります。

このような状況の中、当社グループは、お客様に信頼される「より安全で安心」な食品の提供に努め、「お客様第一」「コンプライアンスの徹底」「安全性と品質の追求」を基本方針とし、「多角化戦略の推進」「グループ経営の強化」「商品開発力の強化」などの諸施策を軸に企業活動を推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同期比2.5%増の1,030億80百万円、営業利益は同44.1%減の18億53百万円、経常利益は同44.8%減の18億66百万円、四半期純利益は、製品自主回収関連費用や投資有価証券評価損を計上したことなどもあり、同66.4%減の9億18百万円となりました。

セグメント別の業績の概況は、次の通りであります。

## 【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益(営業利益)		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
加工食品事業	74,616	75,120	503 (0.7%)	3,125	1,802	△ 1,323 (△42.3%)
食肉事業	25,779	27,762	1,983 (7.7%)	101	△ 47	△ 148 -
その他	200	197	△ 3 (△1.6%)	87	97	10 (11.9%)
合計	100,596	103,080	2,483 (2.5%)	3,314	1,853	△ 1,461 (△44.1%)

## 【加工食品事業 売上高内訳】

(単位：百万円)

	売上高		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
ハム・ソーセージ	44,404	43,452	△ 952 (△2.1%)
調理・加工食品	30,212	31,668	1,456 (4.8%)

### ①加工食品事業

ハム・ソーセージ部門は、主力ブランドの「燻製屋熟成ウインナー」が、2012年モンドセレクション食品部門において4度目の最高金賞を受賞したことから「秋をモンドで楽しもう！キャンペーン」などの販売促進に積極的に取り組んだほか、「上級あらびきグリルマイスター」「仮面ライダーウィザード フィッシュソーセージ」などの新商品を投入しました。また、中元ギフトにおきましても、主力商品である「王覇」「煌彩」シリーズを中心に積極的に拡販に努めましたが、競合他社との販売競争の激化などの影響により、当部門の売上高は、前年同期比2.1%の減収となりました。

調理・加工食品部門は、レトルトカレー商品が前年同期実績を大きく下回りましたが、韓国風チゲ「スンドゥブシリーズ」のほか、手軽に本格的な味が楽しめる「鶏肉でつくるカシミアカレー」、大麦由来の植物性乳酸菌を使用した「SBL88 からだにぜいたくヨーグルト」などの新商品の投入を積極的に努めたことなどにより、当部門の売上高は、前年同期比4.8%の増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同期比0.7%増の751億200万円となりましたが、主力であるハム・ソーセージ部門の減収などから、営業利益は前年同期比42.3%減の18億200万円となりました。

### ②食肉事業

牛肉につきましては、お客様の低価格志向を背景とした価格競争激化など厳しい環境が続いていますが、米国産牛肉の拡販を積極的に取り組みました結果、牛肉の売上高は増加しました。豚肉につきましては、供給量の増加から、相場が低調に推移するなど非常に厳しい状況が続きました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同期比7.7%増の277億6200万円となりましたが、営業利益は、食肉販売単価の下落による収益性の悪化などから4700万円の損失となりました。

### ③その他事業

その他事業の売上高は前年同期比1.6%減の1億9700万円、営業利益は前年同期比11.9%増の9700万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

(連結財政状態)

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第2四半期 連結会計期間末	増減
総資産	124,357	124,455	97
負債	56,048	56,626	578
純資産	68,309	67,828	△480
自己資本比率	53.7%	53.2%	△0.5%

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が11億4百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が12億23百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ97百万円増加し、1,244億55百万円となりました。

負債は、借入金及びリース債務が4億12百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が18億92百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ5億78百万円増加し、566億26百万円となりました。

純資産は、四半期純利益9億18百万円の計上などがありましたが、剰余金の配当金11億69百万円の支払いなどから、前連結会計年度末に比べ4億80百万円減少し、678億28百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて0.5%減少し、53.2%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,222	3,784	△1,437
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,198	△3,303	△1,105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,821	△1,584	1,236
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,784	11,190	△2,593

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権やたな卸資産の増加などによる減少要因がありましたが、仕入債務の増加や税金等調整前四半期純利益の計上などから、37億84百万円増加(前年同四半期連結累計期間と比べ14億37百万円減少)しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備の増強・合理化や品質の安定のための固定資産の取得による支出などから、33億3百万円減少(前年同四半期連結累計期間と比べ11億5百万円支出増加)しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払や有利子負債の返済による支出などから、15億84百万円減少(前年同四半期連結累計期間と比べ12億36百万円支出減少)しました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末から11億4百万円減少(前年同四半期連結会計期間末と比べ25億93百万円減少)し、111億90百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、本日（平成24年11月12日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,482	11,378
受取手形及び売掛金	25,234	26,457
商品及び製品	5,901	7,170
仕掛品	688	665
原材料及び貯蔵品	7,464	6,725
繰延税金資産	1,782	1,601
その他	844	1,521
貸倒引当金	△60	△62
流動資産合計	54,338	55,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	46,911	47,234
減価償却累計額	△31,046	△31,575
建物及び構築物 (純額)	15,865	15,659
機械装置及び運搬具	44,746	47,558
減価償却累計額	△35,775	△36,729
機械装置及び運搬具 (純額)	8,970	10,828
工具、器具及び備品	4,980	4,918
減価償却累計額	△3,402	△3,371
工具、器具及び備品 (純額)	1,577	1,546
土地	19,052	18,950
リース資産	8,078	7,290
減価償却累計額	△3,831	△3,603
リース資産 (純額)	4,246	3,686
建設仮勘定	1,385	686
有形固定資産合計	51,098	51,357
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	9,323	8,269
関係会社株式	120	107
長期貸付金	178	195
繰延税金資産	60	257
その他	7,734	7,485
貸倒引当金	△425	△429
投資その他の資産合計	16,991	15,885
固定資産合計	70,018	68,997
資産合計	124,357	124,455

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,817	21,710
短期借入金	8,446	10,909
1年内返済予定の長期借入金	4,479	3,196
リース債務	1,076	911
未払金	6,627	6,115
未払法人税等	357	346
未払消費税等	352	249
賞与引当金	1,115	1,266
その他	1,835	1,978
流動負債合計	44,108	46,683
固定負債		
長期借入金	5,387	4,347
リース債務	3,272	2,885
繰延税金負債	1,884	1,302
退職給付引当金	854	855
その他	540	552
固定負債合計	11,939	9,943
負債合計	56,048	56,626
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	21,685	21,685
利益剰余金	37,171	36,920
自己株式	△697	△698
株主資本合計	64,875	64,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,001	1,674
繰延ヘッジ損益	17	△7
為替換算調整勘定	△114	△91
その他の包括利益累計額合計	1,904	1,576
少数株主持分	1,529	1,628
純資産合計	68,309	67,828
負債純資産合計	124,357	124,455

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	100,596	103,080
売上原価	74,494	77,593
売上総利益	26,102	25,486
販売費及び一般管理費	22,787	23,633
営業利益	3,314	1,853
営業外収益		
受取利息	12	14
受取配当金	109	123
不動産賃貸料	87	91
その他	189	183
営業外収益合計	399	412
営業外費用		
支払利息	210	172
その他	122	226
営業外費用合計	332	399
経常利益	3,380	1,866
特別利益		
固定資産処分益	13	39
負ののれん発生益	19	—
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	32	40
特別損失		
固定資産処分損	127	107
減損損失	74	107
製品自主回収関連費用	—	213
投資有価証券評価損	0	535
特別損失合計	203	963
税金等調整前四半期純利益	3,210	943
法人税、住民税及び事業税	424	298
法人税等調整額	△197	△390
法人税等合計	226	△92
少数株主損益調整前四半期純利益	2,984	1,036
少数株主利益	249	118
四半期純利益	2,734	918

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,984	1,036
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△355	△326
繰延ヘッジ損益	△36	△25
為替換算調整勘定	8	22
持分法適用会社に対する持分相当額	—	1
その他の包括利益合計	△383	△328
四半期包括利益	2,600	708
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,350	589
少数株主に係る四半期包括利益	249	118

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,210	943
減価償却費	2,888	2,825
減損損失	74	107
貸倒引当金の増減額(△は減少)	14	6
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△424	85
受取利息及び受取配当金	△122	△138
支払利息	210	172
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1
投資有価証券評価損益(△は益)	0	535
固定資産処分損益(△は益)	114	67
売上債権の増減額(△は増加)	△1,304	△1,218
たな卸資産の増減額(△は増加)	△454	△508
仕入債務の増減額(△は減少)	1,397	1,892
未払消費税等の増減額(△は減少)	△61	△102
その他	455	△602
小計	5,997	4,064
利息及び配当金の受取額	148	168
利息の支払額	△209	△171
法人税等の支払額	△714	△277
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,222	3,784
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△15	△22
投資有価証券の売却による収入	—	19
固定資産の取得による支出	△2,132	△3,385
固定資産の売却による収入	123	149
関係会社株式の取得による支出	△130	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	5	—
その他	△49	△64
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,198	△3,303
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,863	2,460
長期借入れによる収入	500	224
長期借入金の返済による支出	△3,471	△2,547
リース債務の返済による支出	△669	△533
配当金の支払額	△1,039	△1,169
その他	△4	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,821	△1,584
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	202	△1,104
現金及び現金同等物の期首残高	13,582	12,295
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,784	11,190

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	74,616	25,779	100,396	200	100,596	—	100,596
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	597	597	△597	—
計	74,616	25,779	100,396	798	101,194	△597	100,596
セグメント利益	3,125	101	3,227	87	3,314	—	3,314

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては74百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「加工食品事業」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間より、新たに取得した(有)紀の梅食品を連結の範囲に含めましたことや、連結子会社である(株)熊野路の株式を追加取得しましたことから、負ののれん発生益(特別利益)を計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては19百万円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	75,120	27,762	102,883	197	103,080	—	103,080
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	658	658	△658	—
計	75,120	27,762	102,883	855	103,738	△658	103,080
セグメント利益又は 損失(△)	1,802	△47	1,755	97	1,853	—	1,853

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を  
含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の  
営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失  
の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては107百万円であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。